

福井県議会議員山本建の **けんちゃん奮闘記**



～2月議会編～

●並行在来線の特急存続又は同等の利便性確保について



大阪までの全線開業までの間に特急が存続することで、これまで通りの利便性が保たれることが望ましいと考えておりますが、結論を出す期限を決めて、しっかりと国に要望し、仮にダメだった場合は代替策の実現に向けて取り組むことが必要だと考えますが、特急の存続問題について結論を出すリミットをいつまでと考えているのか知事の所見をお伺いします。

<山本建>

来年の1月ぐらいに経営計画を立てていくというような場面が来ますので、その前に大まかな方向を決めているということは必要なのではないかと思っていますところでございます。そういう意味では、年内を目途に、国やJRと十分話し合いをしてまいりたいというふうと考えているところでございます。

<知事>

●日本一の子育て支援と処遇改善による保育士の確保について



県は、保育所等の受け皿整備（保育士確保）として待機児童ゼロを目標にしております。しかしながら、兄弟が別々の保育園になる事例が増えており、このようなケースは待機児童に含まれません。待機児童ゼロだけではなく隠れ待機児童もゼロとして目標を高めるべきと考えますが所見をお伺いします。

<山本建>



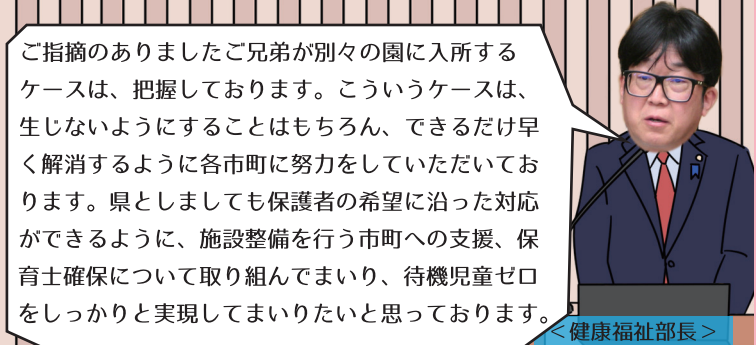
待機児童解消には、保育環境の整備を進める一方で、希望するご家庭については家庭での育児を進めることも有効と思います。今回、新たに創設する家庭で育児をされている世帯への手当の狙いと事業の概要についてお伺いします。

<山本建>



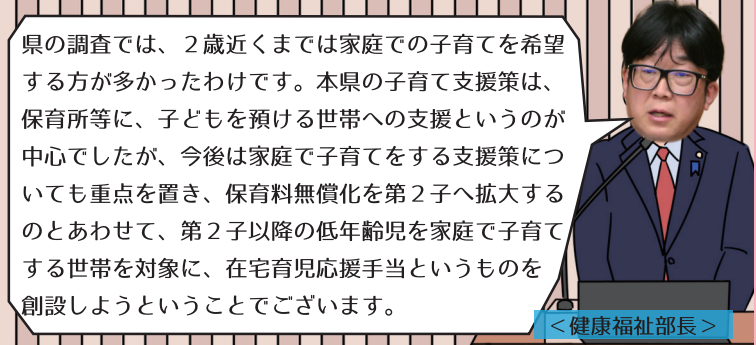
保育士の離職理由では給料の安さと業務量の多さ現職保育士の改善希望では給与・賞与が多数を占めています。国の処遇改善加算等により、保育士の給与は改善しているが、介護職や全産業と比較すると低額になっています。福井県独自のベースアツ手当を導入することで、給与改善・保育士確保につながるのではないかと考えますが所見をお伺いします。

<山本建>



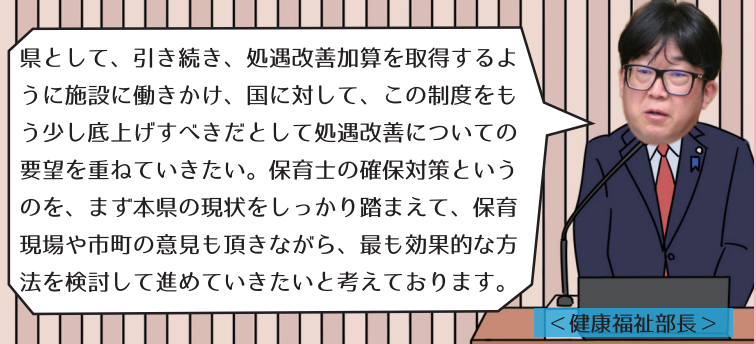
ご指摘のありましたご兄弟が別々の園に入所するケースは、把握しております。こういうケースは、生じないようにすることはもちろん、できるだけ早く解消するように各市町に努力をさせていただいております。県としましても保護者の希望に沿った対応ができるように、施設整備を行う市町への支援、保育士確保について取り組んでまいり、待機児童ゼロをしっかりと実現してまいりたいと思っております。

<健康福祉部長>



県の調査では、2歳近くまでは家庭での子育てを希望する方が多かったわけです。本県の子育て支援策は、保育所等に、子どもを預ける世帯への支援というものが中心でしたが、今後は家庭で子育てをする支援策についても重点を置き、保育料無償化を第2子へ拡大するのとあわせて、第2子以降の低年齢児を家庭で子育てする世帯を対象に、在宅育児応援手当というものを創設しようということでございます。

<健康福祉部長>



県として、引き続き、処遇改善加算を取得するように施設に働きかけ、国に対して、この制度をもう少し底上げすべきだとして処遇改善についての要望を重ねていきたい。保育士の確保対策というのを、まず本県の現状をしっかりと踏まえて、保育現場や市町の意見も頂きながら、最も効果的な方法を検討して進めていきたいと考えております。

<健康福祉部長>

質疑の様子はYoutubeにて、公開されております。

福井県議会録画中継

検索



2月定例会
一般質問
◀こちらから

鯖江を元気に！福井を元気に！福井県議会で奮闘中！！

第410回定例県議会において、私にとりまして初めての当初予算議案となる令和2年度当初予算及び令和2年度補正予算等が可決されました。本年は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡がりを見せる中で福井県としても対策費として133億円を超える補正予算を組むことになりました。一日も早い終息と経済的な影響を最小限に抑えるために対策に取り組んでまいります。

令和2年度当初予算の事業紹介

● 私立高等学校等就学支援事業

令和2年4月の入学生から、年収約910万円未満世帯まで私立高校の授業料無償化を拡充

● 県民ワクワクチャレンジ応援事業

福井を活性化しようとチャレンジする女性や若者、NPOが行うチャレンジを応援

事業内容：公開プレゼンによるコンテスト（審査会）を開催

100万円3件程度、20万円15件程度、クラウドファンディング活用上乘せ20万円/件

● オールふくい連携婚活応援事業

「婚活サポートセンター」を設立してAIを活用したシステムによる婚活サポート

● クラウドファンディング活用促進事業

クラウドファンディングを活用して創業や新分野展開に取り組む中小企業者等を支援

事業内容：クラウドファンディング活用促進セミナー開催や活用経費（手数料等）を支援

補助率 1/2 補助上限額 20～50万円

● 学生ベンチャー・チャレンジ応援事業

大学での研究成果や学生の斬新なアイデアを活かした創業へのチャレンジを応援

事業内容：県内学生の創業に要する経費を支援 補助率 10/10 補助上限 95万円

● 県外学生UIターン推進事業

福井県奨学金返還支援基金により、UIターン者の奨学金返還を支援

対象分野：建設業、製造業、情報通信業、農林水産業、医療・福祉等

助成額：通常の返還額の5年分（上限20万円/年、最大100万円/人）

● 外国人介護人材育成支援事業

海外の機関と連携して本県に受け入れる介護人材を現地で育成（日本語・介護技術）し、

外国人介護人材の受入れを促進（ふくい外国人介護職員支援センター（仮称）開設）

● プラスチックごみ削減対策事業

プラスチック廃棄物の削減、持続可能な回収・再利用を推進するため、ふくいプラスチック・スマートキャンペーンを実施

事業内容：県内イベントにおけるリユース食器の利用に対する補助

補助対象者：市町、NPO、民間事業者 補助率 1/2 補助上限額 15万円

★新型コロナウイルス感染症対策としての県内企業への支援

● 経営安定化資金（新型コロナウイルス対策分）

対象者 最近1か月の売上等が前年同期比20%以上減少かつその後2か月を含む
3か月間の売上等が前年同期比20%以上減少する見込である者

融資限度額 8,000万円 保証料 全額補給

申請 鯖江市商工政策課でセーフティネット保証4号の認定を申請 0778-53-2229

● 福井県雇用維持緊急助成金

新型コロナウイルスの影響により事業活動の縮小や事業所の閉鎖等を余儀なくされた事業所を支援

対象者 国の雇用調整助成金の支給決定を受けた事業所 補助率 10/10（全額。大企業は17/20）※従業員を解雇していない場合

上限額 200万円（1事業所当たり）

申請 福井労働局特別労働相談窓口 0776-22-3363

その他、新型コロナウイルスに関する
ご質問ご相談は、下記窓口までご連絡ください。

総合相談電話窓口

0776-20-0250

（ご相談内容により適切な相談窓口を紹介します）

8時30分から17時15分まで

（平日のみ。土日、休日を除く）



● 県政に関するご意見・ご要望はお気軽にご連絡下さい。

福井県議会議員山本建事務所

〒916-0004

福井県鯖江市糺町 25-12-2 糺野ビル 2階

TEL：0778-52-2533 / FAX：0778-52-2534

E-mail：info@yamamotoken.jp

